

# 平成29年度 基本評価調書

施策名	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓(ロシアほか)	所管部局	総合政策部	作成責任者	総合政策部長 佐藤 嘉大	施策コード	02 - 05
		照会先	国際課ロシアG (内21-231)	関係課	国際課		

## Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標
	2	経済・産業	(5)	海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展	B	海外展開によるビジネス創出と海外からの投資促進	
北海道創生総合戦略	A3822		北海道強靱化計画		新・北海道ビジョン	C00201	
特定分野別計画等	海外との経済交流推進方策						

### 1 目標等の設定

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内需減少の厳しい経済環境下にある中、ロシアを始めとする海外市場の成長を取り込むことによる、本道経済のグローバル化が求められている。</li> <li>・為替相場の変動、カントリーリスクの顕在化、経済連携の動きなど、我が国を取り巻く環境は絶えず大きく変動。</li> <li>・昨年4度に亘る日露首脳会談により、両国政府レベルでの経済協力の機運が急速に高まる中、国際情勢やニーズの変化に的確に対応し、今後、ロシアとの間で、具体的かつ継続的なビジネスの交流につなげるためには、産学官金の関係者が一体となって事業化に向けた取組を行っていくことが重要。</li> </ul>	施策目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取組で得られた成果や現地でのネットワークを最大限活用し、食の安全・安心や保健医療、寒冷地の生活、環境・エネルギーなど社会的課題の解決を通じた道内企業の参入等を促進するため、道内各地域や産学官金が一体となってロシア極東地域とのビジネス交流の更なる深化に取り組む。</li> <li>・日露経済交流拡大の機運を捉えたロシア欧露部との交流を展開する。</li> </ul>
-------	---	------	--

施策の 推進体制 (役割・取組等)	政策体系	役割等	政策体系	役割等	施策の予算額	
	2(5)B	【北海道・ロシア極東地域経済協力発展プログラム】 〔国、市、経済団体、民間金融機関、企業ほか〕 ・施策の推進に当たっては、「北海道とロシア連邦極東地域との経済協力発展プログラム(第5期)」の協力分野を推進するために平成25年2月に道が設置した、道内の産学官金の組織から構成される「貢献と参入」プロジェクトチームを発展改組した「北海道・ロシア地域間協力チーム」(H29.5設置予定)と連携する。 ＜北海道・ロシア地域間協力チーム＞ 知事の5つの「協力パッケージ」を加速的に推進するため、産学官金等により構成するプラットフォーム 〔知事の5つの協力パッケージ〕①食の安全・安心 健康・長寿、②エネルギーの地産地消、③環境の保全、④寒冷地の快適な生活、⑤観光・人的交流	2(5)B	【サハリン州との友好・経済交流の促進】 〔道〕 サハリン州政府との知事会談及び定期会議を主宰 道の海外拠点を活用した、現地情報の収集・提供や連絡調整による取組支援 〔民間〕「北海道・サハリン州友好経済協力推進協議会」の構成員(27機関)として「友好・経済交流促進プラン」の取組促進に向けた協議・検討に参画	H27	27,290
2(5)B	【ロシア極東地域との協力促進】 〔道〕 ロシア側地方政府との定期会議を主宰 道の海外拠点を活用した、現地情報の収集・提供や連絡調整による取組支援 〔民間〕「北海道・ロシア連邦極東地域経済交流委員会」の構成員(81機関)として「経済協力発展プログラム」の策定等に参画	2(5)B	【庁内連携】 〔道〕 国と連携し北海道とロシアとの地域間協力を推進するため、H29.2に関係課(31課・局・室)の情報共有・連絡調整等を目的に、「北海道・日露地域間協力推進庁内連絡会議」を設置	H28	64,301	
				H29	105,312	

	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
	今年度の取組	2(5)B	◎道サハリン事務所や北海道銀行ウラジオストク駐在員事務所派遣職員などの現地ネットワークを活用した経済交流の推進(サハリン事務所維持運営費) ◎日露経済交流拡大の機運を捉えたロシア欧露部等との交流展開(北海道・ロシア連邦キックオフ事業) ◎フェアや商談会の開催等による道内企業のロシアビジネス支援(ロシア極東地域ビジネス展開支援事業) ◎海外寒冷地における先駆的事業者との技術交流やセミナー開催を通じた、環境・エネルギー関連企業の市場拡大(寒冷地適応型省エネ技術海外展開促進事業) ◎ロシア極東3地域(サハリン州、ハバロフスク地方、沿海地方)の地方政府との会議の実施(交流協力推進事業費)	

<前年度意見への対応>

前年度付加意見(二次政策評価における付加意見の内容)	【施策の緊急性・優先性(緊急性が高く優先的に取り組む必要)】 世界の中の北海道を意識したロシア市場等の開拓に向けて、両地域間の交流を一層促進するため、経済部などとの新たな連携を検討すること。 なお、連携に当たっては、施策間で共有する成果指標を設定すること。	付加意見への所管部局の対応 (H29年3月末時点)	・ロシアに関する情報共有と連携を目的に「北海道・日露地域間協力推進庁内連絡会議」を立ち上げ(2017.2)、関係部と連携し、分野横断的な施策を推進する。 連携に当たっては、施策間で共有する成果指標を設定する。

## Do & Check 施策評価

### 1-2 取組の結果

#### (1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			更に取り組が必要な事項
		北海道創生総合戦略	北海道強靱化計画	新・北海道ビジョン	
2(5)B	「日露文化・芸術フェスティバル」(於:サハリン)への「北海道文化・芸術ミッション」を派遣し(6月)、北海道とサハリン間の友好交流を促進	A3822		C00201	
2(5)B	総合産業見本市「イノブロム2017」(於:エカテリンブルク)へ北海道ミッションを派遣し(7月)、欧露部との経済交流を促進	A3822		C00201	
2(5)B	道サハリン事務所や北海道銀行ウラジオストク駐在員事務所派遣職員などの現地ネットワークを活用して道内企業の海外展開を支援し、ロシア極東地域との経済交流を促進	A3822		C00201	

#### (2) その他の取組の成果等

国等提案・要望状況	<p>・内閣府、外務省、経済産業省に対し、国費要望(重点要望:日露経済交流促進に向けた地域が主体となる課題解決貢献型の経済交流事業への支援の充実、健康関連分野に係るロシア極東地域との交流促進に対する支援。(平成29年7月)</p>	施策に関する道民ニーズ	<p>北海道ミッション派遣に係る事業の際の参加企業アンケートにより、以下のような意見を把握し、施策の推進に役立っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・極東と欧露部を結ぶ営業活動は不可欠。</li> <li>・交通インフラの整備及びビザの緩和、定期的な情報発信と人的交流の強化。</li> <li>・モスクワやサンクトで実施の事業(見本市)に参加したい。</li> </ul>
-----------	---	-------------	---

# 平成29年度 基本評価調書

施策名	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓(ロシアほか)	施策コード	02 - 05
-----	-----------------------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

## 2 連携の状況

### (1) 施策間・部局間の連携

## 2-2 連携の取組状況

### (1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
2(5)B	(経済部国際経済室との連携) ○道内企業の海外展開進出を連携支援 ・道内企業の情報・動向の共有(常時及び国際化推進会議等において) ・海外展開支援ノウハウの共有 ・同室が所管するJETROやHIBCの支援メニューを活用した取組支援	N0508	経済部国際経済室	・国際経済室及び同室所管のJETROやHIBCなどとは、常時及び連絡協議会(月1回)などを通じて国や企業の動向及び海外展開支援ツールやノウハウを共有
2(5)B	(食関連、観光、エネルギー分野での農政部、経済部等との連携) ◇食関連産業室 「食の輸出戦略推進本部員会議」、「同WG会議」の構成員として、食輸出に関する情報を共有 ◇観光局 観光展示会や商談会におけるプロモーションツールやノウハウの活用 ◇環境・エネルギー室 「北海道環境産業振興戦略」庁内連携会議の構成員として、道内の環境関連企業の技術・製品開発の情報を共有し、同室所管の電源立地地域対策交付金などを活用して販路開拓を支援 ◇建設部、農政部、水産林務部 「北海道・ロシア連邦極東地域経済交流委員会」の構成員として参画し交流支援 ◇保健福祉部 「北海道・ロシア極東医療交流基金」等を活用した医療技術向上のための交流支援	N0503	経済部食関連産業室	◇食関連産業室 「食の輸出戦略推進本部員会議」、「同WG会議」の構成員として、食輸出に関する情報を共有 ◇観光局 沿海地方での観光展示会においてプロモーションツールの提供等により連携実施 ◇環境・エネルギー室 「北海道環境産業振興戦略」庁内連携会議において、環境関連企業の情報を共有 同室所管の電源立地地域対策交付金を活用した事業に着手(8月～) ◇建設部、農政部、水産林務部 「北海道・ロシア連邦極東地域経済交流委員会」の構成員として会議に参加 ロシア代表団による企業訪問や現地視察受入を連携実施 ◇保健福祉部 北海道医療大等による日ロ共催シンポジウムの実施を連携支援
		-	経済部観光局	
		-	経済部環境・エネルギー室	
		-	建設部建設政策課	
		-	農政部農政課	
		-	水産林務部総務課	
		-	保健福祉部地域医療課	
2(5)B	(その他庁内連携) 国と連携し北海道とロシアとの地域間協力を推進するため、「北海道・日露地域間協力推進庁内連絡会議」を設置(H29.2)。「北海道・ロシア連邦地域間協力キックオフ事業」はじめ経済・人的交流の更なる拡大に向け各部と連携していく。	-	経済部国際経済室、食関連産業室など全部局22課で構成	・関係各部・課から構成される「北海道・日露地域間協進庁内連絡会議」を立ち上げ、情報共有等を図り、施策実施の際は、横断的に協力。

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果
以下の会議等の構成員として参画し、北海道とロシアとの友好・経済交流の各種取組を連携支援 ・「北海道・ロシア連邦極東地域経済交流委員会」(81機関) ・「北海道・サハリン州友好経済協力推進協議会」(27機関) ・「北海道・ロシア地域間協力チーム」(産学官金等により構成、H29.5設置予定)	国、自治体、友好・経済団体、金融機関、大学、企業等	・「日露文化・芸術フェスティバル」(於:サハリン)への参加、総合産業見本市「イノプロム2017」への出展について連携を図った。

# 平成29年度 基本評価調書

施策名	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓(ロシアほか)	施策コード	02 - 05
-----	-----------------------------	-------	---------

## Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

## Do & Check 施策評価

### 3 成果指標の設定

### 3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	D	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H37					
	輸出額(暦年)	基準値	4,787億円	目標値	5250億円	最終目標値	7,250億円	年度	H27	H28	進捗率	・経済部国際経済室と指標を共有しており、当施策は対ロシア貿易振興の観点から関与 ・道の海外拠点を活用した企業支援や、フェアや商談会の開催により輸出支援を行っているが、H28年度は、海外の大型プロジェクトの減少や、海外での需要減により鉄鋼の減少(330億円)、自動車のギアボックスの減(240億円)、前年の台風の影響によるホタテの不漁による減少(80億円)などにより、H27年度より減少した。
	[指標の説明] 海外取引を示す指標として、本道から函館税関を通じ、直接海外へ輸出された通関額を目標として設定する。	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	4,750	5,000	7,250	
		北海道総合計画		2(5)B	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	4,938	3,710	3,710	
								達成率	104.0%	74.2%	51.2%	

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
	直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

平成29年度 基本評価調書

施策名	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓(ロシアほか)	施策コード	02 - 05
-----	-----------------------------	-------	---------

Plan 施策推進計画(事務事業)(目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式2)

Do and Check

4 事務事業の設定

4-2 事務事業の評価

整理番号	政策体系	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費(千円)	平成29年度					創生総合戦略	強靱化計画	新・北海道ビジョン	前年度付加意見	付加意見への所管部局の対応(H29年3月末時点)	一次政策評価			
							事業費(千円)	うち一般財源	執行体制								フルコスト(千円)	点検事項		
									本庁	出先機関	人工計							付加意見への所管部局の対応(評価時点)	推進事項	方向性
1001	2(5)B	主①	サハリン州等ロシア極東地域友好・経済協力推進事業費(団体補助金を除く)	本道とロシア連邦極東地域の友好及び経済交流の促進を図るため「北海道サハリン事務所」を運営するとともに、「道とサハリン州との友好・経済協力に関する提携」等に基づく友好・経済協力事業の基本方針等を協議するための諸会議を実施する。	国際課		21,169	21,169	2.3	0.5	2.8	43,569	○	○				見直し検討(指標)		
1002	2(5)B	主①	サハリン州等ロシア極東地域友好・経済協力推進事業費(団体補助金分～北海道・ロシア極東交流事業実行委員会)	北海道・ロシア極東交流事業実行委員会が行う道の対口施策に合致したサハリン州との友好交流事業に対し助成し、道としての対口交流の推進拡大を図る。	国際課		2,166	2,166	0.1	0.3	0.4	5,366	○	○				見直し検討(指標)		
1003	2(5)B	主①	ロシア等との友好・経済交流に関する事務	ロシアとの友好・経済交流に係る連絡調整、ロシア交流団体との連絡調整、道内企業のロシアビジネス参入支援等	国際課		0	0	1.8	0.7	2.5	20,000	○	○				見直し検討(指標)		
1004	2(5)B	主①	北海道・ロシア連邦地域間協力をキックオフ事業	日露の幅広い関係強化と更なる経済交流の拡大に向け、ロシア極東地域との交流の深化に加え、欧露部等との交流に取り組む。	国際課		45,075	45,075	1.7	0.5	2.2	62,675	○	○				見直し検討(指標)		





平成29年度 基本評価調書

施策名	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓(ロシアほか)	施策コード	02 - 05
-----	-----------------------------	-------	---------

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
2(5)B				1		D指標あり	<輸出額(億円)(暦年)[D]> H28年度は、海外の大型プロジェクトの減少や、海外での需要減により鉄鋼の減少(330億円)、自動車のギアボックスの減(240億円)、前年の台風の影響によるホタテの不漁による減少(80億円)などにより、H27年度より減少した。 今後も、欧露部との経済交流促進や、道の海外拠点を活用した企業支援、フェアや商談会の開催など輸出支援に取り組む必要がある。
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	0	0	0	1	0	D指標あり	
	1						

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	道内各地域や産学官金が一体となってロシア極東地域とのビジネス交流の更なる深化に取り組むため、また、日露経済交流拡大の機運を捉えたロシア欧露部との交流を展開するため社会情勢や道民の要請を集約する会議体を立ち上げ、施策を実施している。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	国等に要望を行い、今年には一部査証緩和が実現するなど、状況の進捗が認められる。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	道が実施する事業終了後に、アンケート調査を実施し、道民(企業)からの意見を集約し、施策の効果的な推進に役立っている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	関係各部・課から構成される「北海道・日露地域間協推進庁内連絡会議」を立ち上げ、情報共有等を図り、施策実施の際は、横断的に協力。
	施策の推進に当たり、地域・団体との連携・協働による成果を確認できるか	○	「北海道・ロシア地域間協力チーム」などに構成員として参画し、北海道とロシアの交流について地域・団体と効果的に連携している。
判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価

成果指標の分析	取組の分析	総合評価
判定(計)	判定	
D指標あり	a	課題等はあるが引き続き推進

## (4) 対応方針(次年度に向けての課題と今後の方向性)

対応方針			(関連する計画等)		
対応方針 番号	政策体系	内 容	北海道創生 総合戦略	北海道強 靱化計画	新・北海道 ビジョン
①	2(5)B	円高等による輸出の減少傾向が見られるが、欧露部を含め、引き続き社会的課題の解決を通じたロシアビジネスへの道内企業の参入・拡大を支援する。	A3822		C00201
②	2(5)B	今年度の取組を足がかりに、来年度も欧露部における見本市等へ出展し、進出の地盤固めを行うことが必要。	A3822		C00201
③	2(5)B	来年度の北海道・サハリン友好提携20周年に向けてロシア極東地域との相互交流が必要。	A3822		C00201
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

平成29年度 基本評価調書

施策名	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓(ロシアほか)	施策コード	02	—	05
-----	-----------------------------	-------	----	---	----

Check 施策評価・事務事業評価

6 二次評価結果(知事による評価)

(1) 施策評価

付 加 意 見	
---------	--

(2) 事務事業評価

意見区分	整理番号	事務事業名	二次政策評価意見

# 平成29年度 基本評価調書

施策名	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓(ロシアほか)	施策コード	02 - 05
-----	-----------------------------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

対応方針 番号	対	応
①	<新たな取組等> 来年度も、今年度創設した産学官金により構成された「北海道・ロシア地域間協力チーム」などと連携し、欧露部における経済フォーラムに参加するなど、ロシアに於ける社会的課題の解決を通じたロシアビジネスへの参入・拡大を支援していく。	
②	<新たな取組等> 来年度は、欧露部での経済フォーラムへの北海道ミッションの派遣や、物産展あるいは見本市等への出展を実施していく。	
③	<新たな取組等> 来年度においては、北海道とサハリン州との友好・経済協力提携20周年であることから、周年事業の実施のほか青少年(スポーツ)交流などの取組も実施していく。	
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		

（2）二次評価結果への対応

意見区分	所管部局の対応	意見区分	所管部局の対応

# 平成29年度 基本評価調書

施策名	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓(ロシアほか)	施策コード	02 — 05
-----	-----------------------------	-------	---------

## Action 事務事業評価

### 8 事務事業評価結果の反映 (各部局等が実施)

#### (1) 一次評価結果への対応

区分	方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計	次年度新規事業 (予定)
評価結果		6 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業	6 事業	
反映結果		- 事業	1 事業	4 事業	0 事業	0 事業	0 事業	1 事業	6 事業	0 事業

整理番号	事務事業名	一次政策評価 結果(再掲)	H30年度の 方向性
1001	サハリン州等ロシア極東地域友好・経済協力推進事業費(団体補助金分を除く)	見直し検討 (指標)	現状維持
1002	サハリン州等ロシア極東地域友好・経済協力推進事業費(団体補助金分～北海道・ロシア極東交流事業実行委員会)	見直し検討 (指標)	現状維持
1003	ロシア等との友好・経済交流に関する事務	見直し検討 (指標)	現状維持
1004	北海道・ロシア連邦地域間協力キックオフ事業	見直し検討 (指標)	拡充
1005	ロシア極東地域ビジネス展開支援事業(戦プロ)	見直し検討 (指標)	現状維持
1006	寒冷地適応型省エネ技術海外展開促進事業(電力移出県等交付金)	見直し検討 (指標)	終了